

高等学校改革に対応するために

只見高校対策の専門委員を設置

2月1日、只見高等学校振興対策専門委員の委嘱状交付式が役場で行われ、菅家町長から齋藤修一前教育長に委嘱状が手渡されました。

これは、県の高等学校改革に対応するために、専門的な知識を持つ有識者を専門委員として教育委員会に設置するもので、専門委員は只見高校の振興対策のために広い視野で見や助言などを行います。

齋藤専門委員の任期は12月31日までで、今後只見高校の振興対策や存続に向けた活動を行っていきます。



▲齋藤前教育長(左)に委嘱状を手渡す菅家町長(右)

只見高校の更なる振興に向けて

只見高校の対策を福島県に要望

2月13日、菅家町長や齋藤邦夫議長、齋藤修一只見高校振興対策専門委員などが福島県庁を訪れ、只見高校の更なる振興に向けた要望活動を行いました。

要望活動では、「1学年募集定員を70人、1学級の編成基準40人を35人として認可されている現制度を継続的に維持してほしい」などが盛り込まれた要望書を、菅家町長から鈴木淳一県教育長に手渡しました。

要望に対し鈴木県教育長は「只見高校の町における位置づけや町の思いを感じた」とし、今後検討していきたいと話されました。



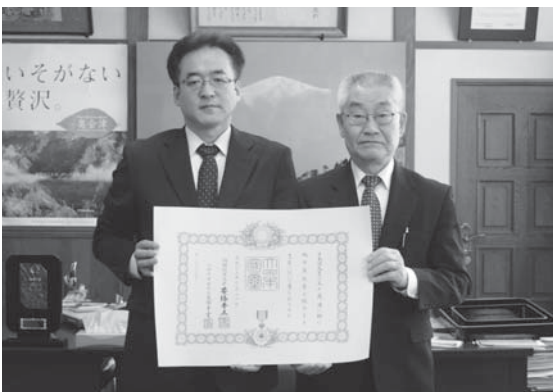
▲齋藤議長や齋藤専門委員が同席する中、鈴木県教育長(左)に要望書を手渡す菅家町長(右)

故・五十嵐源一郎さん

叙勲伝達式で功績を称える

2月19日、元只見町議会議員で昨年11月に82歳で亡くなった五十嵐源一郎さんへの死亡叙勲(旭日单光章)伝達式が役場で行われ、長男の久さんが出席されました。源一郎さんは町議会議員を、平成8年に初当選してから3期12年、平成16年からは2年間、副議長を務められました。また、町教育委員、町監査委員、町森林組合代表監事、町土地改良区副理事長なども歴任し、町政発展に貢献されました。

佐々恵一県南会津地方振興局次長が同席した伝達式で、菅家町長は長男の久さんに勲記などを手渡し、その功績を称えました。



▲菅家町長(右)から勲記を受け取る久さん(左)

町の教育振興基本計画を考える

第4回「検討委員会」を開催

1月26日、「第4回只見町教育振興基本計画検討委員会」が季の郷湯ら里で開かれ、関係者などが出席しました。

検討委員会の最終回となる今回は、これまで検討してきた基本計画案を改めて委員の方々と見直しながら意見交換をしました。委員からは「町民にも分かりやすく、理解できる形の計画を策定してほしい」などの意見が出されました。

今後は、各委員からの意見を参考に、最終的なまとめを行い、総合教育会議を経て基本計画として策定されます。



▲教育振興基本計画について熱心に検討する委員の皆さん

食育とスポーツ分野で表彰

只見小と明和小が受賞報告

2月21日、県教育委員会から表彰を受けた只見小学校の関根隆校長と明和小学校の渡部早苗校長が役場を訪れ、菅家町長に受賞報告を行いました。只見小は、「食育推進優秀校表彰」で優良賞を受賞。バランスの良い食事や肥満予防などの取り組みが評価されました。また、明和小は「ふくしまっ子体力向上優秀校表彰」で優秀校を受賞。体力向上プログラムの実践や早朝マラソンなどを行った結果、体力テストで全学年全国平均を上回ったことなどが評価されました。報告を受け菅家町長は、2校の取り組みを称えました。



▲報告に訪れた只見小の関根校長(中右)と明和小の渡部校長(中左)

人材育成第9期生

「チラシづくり」講座開催

2月8日、人材育成第9期生の講座「チラシづくり」が只見振興センターで行われ、受講生6名が参加しました。9期生は、「アウトドアプランナー」を目指すために受講しており、今回はイベント開催時の情報発信の手法としてチラシづくりをテーマに学びました。

チラシづくりでは、会津若松市から北日本印刷(株)の渡部氏を講師に迎え、情報や写真などを掲載する基本について学びました。受講生は、3月17日に雪遊びイベントを企画しており、今回学んだことを活かしたチラシを制作しました。



▲基本を学んだ講座
▶受講生が制作したイベントのチラシ

明和地区の伝統芸能を継承

明和小学校で「伝統芸能発表会」

2月27日、明和小学校で「伝統芸能発表会」が行われ、地域住民や保護者など約80名が参加しました。この発表会は明和地区に伝わる伝統芸能の継承や「只見愛の教育(ESD)」などの一環で行われているもので、今年で4年目を迎えました。

始めに、地域の防犯活動を行う「小林明朗見守り隊」の方々への「感謝の会」が開かれ、児童から感謝の気持ちや伝えられました。続いての発表会では、1・2年生が「大倉八木節」、3年生が「小林早乙女踊り」、4年生が「梁取神楽」を発表し、満員となった会場からは大きな拍手が贈られました。



▲4年生が披露した「梁取神楽」

循環器病予防など理解を深める

「脳卒中・循環器病予防講座」開催

2月27日、心臓や腎臓など大切な臓器を守るための講座「脳卒中・循環器病予防の講話と食事会」が保健福祉センターで開かれ、約30名が参加しました。

始めに、朝日診療所医師の渡邊孝一郎先生による「脳卒中・循環器病予防のために」と題した講演が行われ、動脈硬化が及ぼす影響やその予防について説明されました。続いての試食会では、町の栄養士が考案した減塩・脂質をカットした動脈硬化予防メニュー「しいたけ餃子」など5品目を試食し、参加者からは「減塩したとは思えないほど美味しい」との感想が聞かれました。



▲脳卒中・循環器病予防の理解を深めた参加者の皆さん